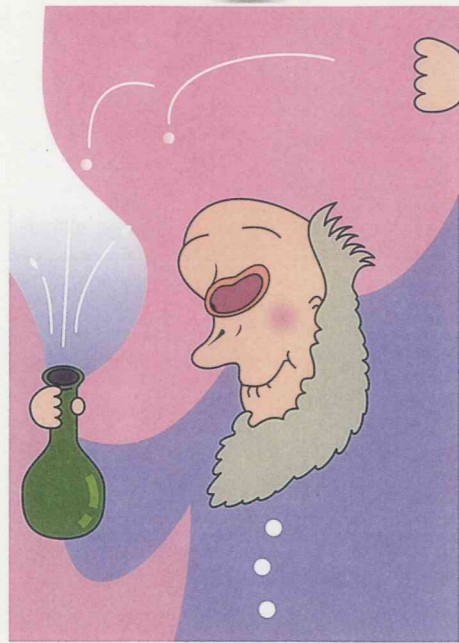


# 人権男女

ちょっと立ち止まって  
大切なのは何?



フラスコと酒瓶

※『まさか さかさま』より転載  
絵・文/伊藤文人 出版/株式会社サンマーク出版

## 固定観念への気づき

左図はトリックアート(さかさ絵)です。薬品を投げ入れて何やら怪しげな実験をしている老博士が、天地を変えると、お酒がなくなったと嘆いている酔っ払いの女性に見えてきませんか。このように、1つの情報からもいくつかの見方や考え方をとらえることができます。

多様な人々(性別・体格・年齢・言語などの違い、障がいの有無などが異なる人々)が生活する日常の中で、価値観の違いに気づくことができるでしょう。そんな時、考え方の違いを認めながら相手を思いやり、お互いをいかにせるように考えることが共同参画の第一歩となります。



私たちって、いろんな人に支えられて生活しているのよね。



そうね、感謝の気持ちやコミュニケーションが大切だと思うわ。



でも、自分が良かれと思ってしたことが相手を傷つけている場合もあるんだよ。一番大切なことは、人の痛みに気づくということじゃないか。



「気づく?」



自分の思い込みで決めつけず、常に相手の立場になって考えてみることをね。

そうすれば、一人ひとりの個性が大切にされ、イキイキと生活できると思うな。



## 世界人権宣言

1948年12月10日に国連により宣言

### 第1条

人間は等しく自由で尊敬されるべき存在であり、互いに思いやる心をもって行動しなければならない。

### 第5条

人は誰でもひどく傷つけられたり、辱められたりすることはできない。

※Wing編集委員要約



## 男性

育児休暇を取りたいのですが…



ほお〜!  
昇進はあきらめたのかね?



Q 男性の育児休暇取得率は?  
(厚生労働省「女性雇用管理基本調査」H19)

A 1.56%

ミニ知識

### 「育児・介護休業法」

働きながら子どもを育てたり、家族の介護を行う労働者の職業生活と家庭生活の両立を支援する法律。本人の申し出により、男女を問わず取得でき、解雇その他の不利益な取り扱いを禁止している。



## 育メンプロジェクト

by 厚生労働省

「イクメン」とは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。イクメンがもっと増えれば、妻である女性の生き方や子どもたちの可能性といった家族のあり方だけでなく、社会全体を動かしていけるはず! サポーターは、イクメンだけでなく、家族、企業、地域の皆さんです。みんなで育児しやすい環境を作っていきましょう。

## 女性

子育ても一段落したから、仕事をしようと思うの…



パートか?  
家事も今までどおりにするならいいよ。



Q 給与格差について、男性一般労働者の給与水準を100とした時、女性短時間労働者(パートタイム、アルバイト)の給与はどの位?  
(厚生労働省「賃金構造基本統計調査」H20)

A 48.5

## 女性の増加を望む職業や役職 in いわき市



※「平成21年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書」より

## 子ども

ねえ、お母さん、あのね…



うるさいわね、いま忙しいのよ!

Q 児童虐待は身体的虐待、性的虐待、心理的虐待と、もう1つは?

A ネグレクト

C/D紹介

### きずな 絆 ~ママへのラブソング~

作詞/渡辺照子 作曲・歌/橋本昌彦  
子どもからお母さんへの愛を歌ったラブソング♪子どもを授かった時の幸せを思い出すことで、子育ての迷いや悩みが軽くなると話題沸騰中!

♪ ああ まどろんでしまう  
腕の中で その鼓動を聞くたびに  
ああ あなたの香りが夢を誘い  
その まなざしに満たされる  
困らせたくま 泣くわけじゃない  
甘えたくま 抱きしめたいから  
あなただけが守ってくれる  
誰よりも 何よりも  
怒らないで 叩かないで  
きつと あなたの気にいる私になるから  
優しい顔も 怖いときも  
どんな あなたも大好き…だから…  
期待どおりの私じゃないけれど  
ちぎれるほどあなたの指を握りしめて  
伝えたい…あなたに代わる人はいない

## 高齢者

まだまだ若い者には負けれんぞ!



もう年なんだから…!

Q 改正高齢者雇用安定法において、事業主はいずれかの措置を講じなければなりません。定年の引き上げ、継続雇用制度の導入ともう1つは?

A 定年の定めの廃止

## 超高齢社会

検索

65歳以上の単身・夫婦のみの世帯が日本の世帯数の半数を超え、少子高齢化の人口構成は社会の活力を失わせている深刻な問題の一つです。そこで、高齢者が「もう年だから…」と言って遠慮したり、若い人が冷ややかな目で見たりせず、培ってきた経験や知識を社会に生かしながら一緒に様々な活動をしていくことで、地域全体にもより活力が生まれてくるように思います。